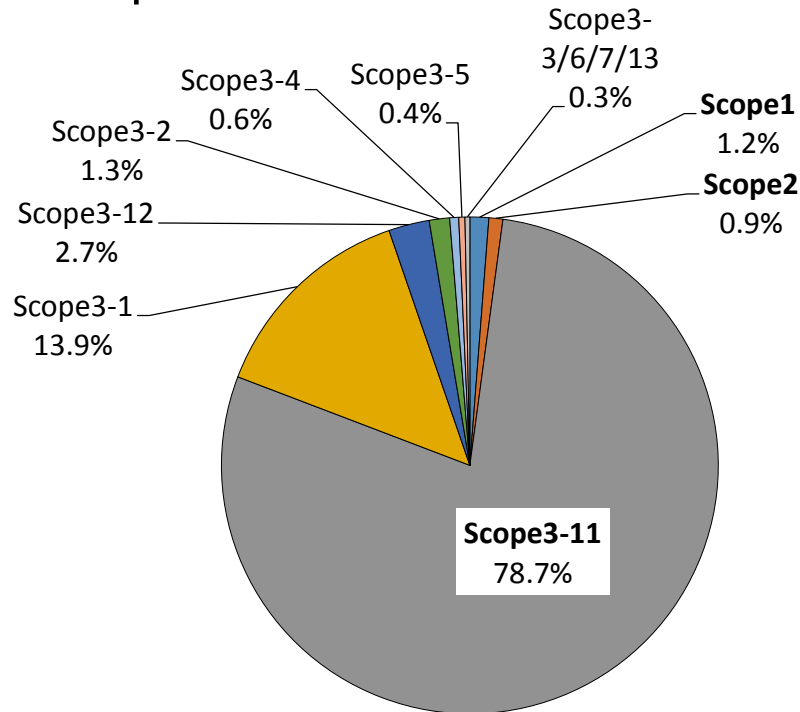


積水ハウス株式会社

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：建設業● 事業概要：工業化住宅請負 他● 17年度グループ連結売上 2兆269億円
2.削減目標案 ※定量値公表が難しい場合、定性的説明でも可	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み> (目標 2030年に2013年比で35%削減)</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み> (Scope3カテゴリ11: 2030年に2013年比で45%削減)</p>

積水ハウス株式会社

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 (※割合は必須、グラフを挿入) Scope1 1.2% Scope2 0.9% Scope3 97.9% 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : [tCO2] (任意) ● SCOPE2 : [tCO2] (任意) ● SCOPE3 : [tCO2] (任意) 目標の対象セクター : 11



積水ハウス株式会社

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動により環境が激変すると住宅市場も多大な影響を受ける（リスク）。これを回避するためにも気候変動を緩和に寄与するZEHの供給は必要であり、ここに事業機会を見出している。 ● 気候変動に伴い規制や対策が強化されると、製造コストアップにつながり、製品価格や購入意欲に影響が出る可能性がある。 ● 気候変動に伴う台風の巨大化などの変化に対応するため、住宅の耐風性能、防災性能を強化するための研究開発や生産工程への追加投資が必要になる可能性がある。 ● 省エネ性能の規制等の強化は、業界の中で最も対応取組みが進んでいる当社にとっては、事業拡大の機会となる可能性がある。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会の実現に向けた取組みを強化している中、当社グループの長期ビジョンを反映、具体化するSBTの認定は、社内外における対話にも役立たせることができる。 ● SBTの認定は、パリ協定遵守宣言を行った当社グループが、科学的根拠に基づき具体的な目標を立て、対応を進めていることを顧客や投資家に示すことを意味しており、ビジネスチャンスの拡大が期待できる。

積水ハウス株式会社

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 2050年を目標年とする脱炭素宣言を2008年に行い、取組みを具体化する中、さらに2013年にはパリ協定遵守宣言を行った。このような中、SBT目標が、当社グループのこれまでの取組みを反映したものであることを社内にて確認した。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope1・2については、再生可能エネルギーの導入促進を含めた取組みの具体化が必要。● Scope3カテゴリ11の削減目標の達成に向け、ZEH化を含めた家庭部門の低炭素化を一層強化するが必要。● 目標達成に向けては、企業取組みに加え、電力排出係数の改善度合いが鍵を握っており、この明確化が必要。